

英國治罪法

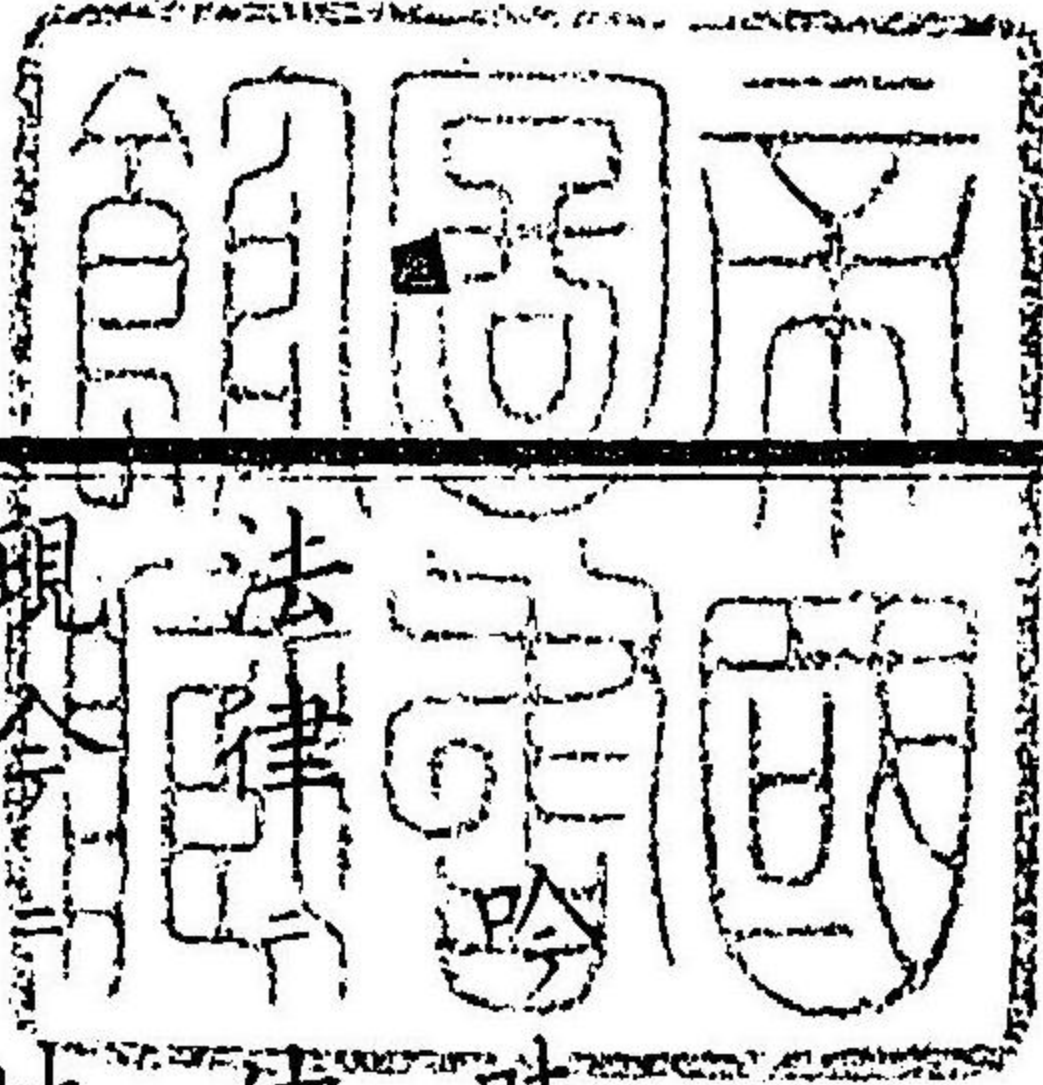
西村玄道譯

下

明12.9

英國治罪法卷之下

英國
ブラックストーン
著
日本
西村玄道
譯



味及ヒ口供

法律依テ承認セラレタル陪審吟味ノ諸法ハ

現今比スレバ古ニ於テ其種類甚タ多シ是レ

タシタス氏ガ古時日爾曼人種ニ就テ説ヲ為セ

シ如ク非常ニ神祇ニ熱心スル所ノ我々サキ

ソノ祖先ノ惑神説ガ流行セシニ由ルサキソニ

英國治罪法

卷下

祖先ハ消罪法ノ種々ノ方法ヲ用ヒタリ是レ他
アルデーナシ此等ノ祖先ハ神祇ヲ以テ無罪ヲ証明スル
 ニ常ニ関涉スル者ト思考スルノ故ヲ以テ虚妄
 ノ証人ノ為ニ無罪者ヲ危難ニ陥ルヲ救フ
 者トスレバナリ此等ノ消罪法ノ最モ古キ者ヲ
 オルデール水ニ溺セ或ハ熱鉄ヲ握トス此ノオ
 ルデールニ二種アリ一ハ火ヲ以テ証罪スル
 ニハ水ヲ以テ証罪スルト是ナリ此二法ハヘン
 リ一三世ノ即位三年ニ廢絶セラレタリ消罪ノ
 他ノ種類ハゴルス子ツド麵包ノ一片ヲ呪詛シ
之附罪者ニ飲マシ

メ其麵包停滯ナク咽喉ヲ通スル者ハ無無即チ呪
 罪ニ皈シ否ラサレハ有罪トナルノ法無即チ呪
 詛ノ麵包是ナリ而シテ是亦漸次ニ廢絶ニ皈シ
 タリ然レ此法ノ遺物ハ尚ホ通常人民中ニ行ハ
 ル、信義誓詞ノ或ル句中ニ留存セリオルデー
ル種類ハ接鬪吟味ニシテ此接鬪ハノルマン人
 ヨリ引入セラレシガ千八百十八年マデハ未ダ
 確然廢セラレザリキ今英國ニ留存スル所ノ吟
 味法ハ只二箇ノミ一ハ議院ニ依テ吟味一ハ
 陪審官ニ依テ吟味是ナリ
 上院ノ上等法廳又ハ貴族上等法廳見前ニ於

テ貴族ノ吟味ハ若シ貴族ガ謀叛罪ニ依テ審罪
 セラル、欵或ハ謀叛不告罪或ハ重罪ニ依テ審
 罪セラル、時開カル、者トス何トナレバ此二
 罪ノ外凡テ他ノ刑事上ノ求刑ニ於テ貴族ハ諛
 二廳ノ吟味ヲ要セズレテ陪審官ニ依テ吟味セ
 ラル、者ナレバナリ此貴族吟味ニ就テ茲ニ一
 箇ノ云フヲ要スル者アリ即チ此貴族吟味手順
 ノ方法ニ於テ格段ナル陪審判決ガ與ヘラレ能
 ハザル外ハ陪審吟味ト異ルナキ是ナリ何トナ
 レバ議院ノ貴族ハ該貴族犯罪ヨリ起ル所ノ法

律ノ充分ナル裁判官ト假定セラレレバナリ而
 シテ又貴族ハ其判決ニ於テ全數ノ一致ヲ要セ
 ズシテ少クモ十二人ヨリ成立スル所ノ多數ノ
 者ガ決議シ少數ノ者ヲ羈束スルヲ為スノ外
 ハ陪審吟味ト異ルナシ陪審判決ノ時ハ最初ニ
 少クモ十二人ノ大陪審
 官ノ一致ヲ要シ後ニハ十二人小陪審官ノ一致
 ヲ要シ都合廿四人ノ一致ヲ要ス然ルニ貴族吟
 味ハ只十二人ノ一致ニ依爾陪審官ノ吟味即チ國
 テ之ヲ決スルガ故ニ云爾陪審官ノ吟味即チ國
 ニ依テ吟味ハ即チ英國人民自由ノ堡塞トシ
 テ彼大契ニ依テ英民ニ保証サレシ所ノ英國人
 民同僚ノ吟味是ナリ其大契ノ文ニ曰自由ノ人

民ハ己レノ同僚ノ依法ノ判決ニ依ル欵或ハ國
 法ニ依ルニアラザレバ捕ハレ或ハ禁獄セラレ
 或驅逐セラレ法外セラレ追放セラレ可カラズ
 或ハ如何ナル法ニヨルモ毀傷セラレ可カラズ
 又ハ彼ニ判決ヲ與ヘ又ハ判決ヲ送ラザル可シ
 故ニ其呼出吟味ニ於テ人若シ己レノ無罪ヲ以
 テ答辯シ或ハ其陪審官ノアル所ノ國ニ其身ヲ
 置キシ時其州ノ郡長ハ陪審者ノ名簿ヲ回送セ
 サル可カラズ此陪審者トハ自由且ツ法律ニ適
 シタル隣保人即チ之ヲ詳言スレバ法律カ要ス

ル所ノ性格ヲ有シ且ツ隣保住居ノ陪審者ニシ
 テ即チ其罪ヲ犯セシ所ノ州ノ仲間是ナリトエ
 ル及ヒテルミ子ルノ裁判委員及ヒ一歳二回ノ
 裁判委員ノ前ニ郡長ハ豫メ己ニ命セラレタル
 命令ニ依テ此名簿ヲ回送スルヲ為スガ故ニ
 罪人呼出吟味ノ後直チニ凡テノ重罪人ヲ審理
 スルハ一般ノ法ナリ然レ法庭ハ常ニ保釋又ハ
 其他ノ場合ニ從ツテ該期限ノ吟味ヲ遲延スル
 ヲ得而シテ叛逆大罪ノ場合ニ於テハ若干ノ
 猶豫ヲ為サル可カラズ是レ其罪人ヲシテイ

ンダイトメントノ寫ト陪審者名簿、寫ト罪人
 ニ逆フタル証人ノ目錄トヲ取り其否拒（否拒ト
 ヨリ陪審者ニ對シ之レガ陪審ト）及ヒ防禦ヲ充
 ナルヲ否拒スルヲ云フ以下做之
 分ニ為サシメンガ為ナリ
 然氏重罪ニ向テ証罪シタル人ハインダイトメ
 ント及ヒ証人及ヒ陪審者ノ目錄ヲ吟味未タ開
 カサル前ニ寫スヲ許サズ然レ氏吟味ノ為メ
 ニ囚獄セラレ又ハ保釋セラレタル何人タリト
 モ其己レガ囚獄セラレ吟味セラレタル所ノテ
 ポシシヨ（証人ノ説明ニシテ保安官ノ寫ヲ取
 記名セシ者解前ニ見コ）

ル可ク要求スルヲ得又寫ヲ取ル可ク許サル
 者トス而シテ其罪未タ重罪ニ昇價セサル者
 ハインダイトメントヲ取ルヲ得又代言長官
 ニ依テ立訴サレタル輕罪求刑ノ場合ニ於テハ
 法庭ハ必ス其囚徒ノ出庭スル後犯罪申告書及
 ヒインダイトメントノ寫ヲ官費ヲ以テ囚人ニ
 交附スベク命ゼザル可カラザル者トス
 其罪件ノ起ル時陪審者ハ原被ヨリシテ否拒サ
 ル、ニアラザレバ（出庭スル時）其數十二人誓詞
 スベキ者トス

否拒ハ國王ノ一方ニ於テモ或ハ囚人ノ一方ニ
 於テモ為スヲ得ベシ而シテ民法訴訟ノ場合ニ
 於テ為スヲ得ヘキ同一ノ道理ニ依リ陪審者全
 數ヲ否拒シ或ハ別箇ニ否拒スルヲ得何トナ
 レバ民法訴訟ニ於ケルト同様ニ刑法上ニ於ケ
 ルモ郡長ハ十分不偏ナルヲ要シ又格段ナル陪
 審者ハ除去セラレザル可カラズ即チ陪審者ハ
 貴族ナル可カラズ不合格年格七格ナル可カ
 ラズ「エツフエクタム」代現言人醫師海陸軍武官等
 フ云ナル可カラズ犯罪者不廉蓋謀叛罪ヲ犯ナ

ル可カラザレバナリ
 以上ノ理由ニ依テノ否拒ハ原由ノ否拒ト名ケ
 ラル、者ニシテ此否拒ハ刑法又ハ民法ノ一部
 局ニ偏在セズ然レ刑法上ノ場合別シテ死罪ノ
 場合ニ於テハ全ク之レガ原由ヲ説示セズシテ
 陪審若干ノ數ニマデ放縱隨意ノ否拒ヲ生命愛
 護ノ為メニ許サレタリ此否拒ハ結極ノ否拒ト
 呼バル、者ニシテ二箇ノ道理ニ依テ立テラレ
 タル者トス第一何人タリトモ他人ト一目新知
 ノ時ニ愛憎ノ念ヲ起ス可キ者ナルガ故ニ何人

タリトモ必ズ不意ノ感覺無誓ノ忌避ヲ感ゼザル可カラズ而シテ陪審者ノ善良ノ説ナカリセハ十分罪人ヲ困厄ニ陥ラシムル者ナルカ故ニ陪審者善良ノ説ハ罪人ニ取テ必須ノ者タリ而シテ法律ハ罪人が忌避セシ所ノ人ニ依テ之ヲ吟味セシムルヲ欲セズ是第一ノ道理ナリ第二其顯シタル原由ノ否拒ニ就テ其否拒ノ道理ガ陪審者ヲ除去スルニ不充分ナルアラバ此陪審者ハ不偏ノ上ニ無故ノ疑問ヲ受ケタルガ為メ該陪審者ニ不満ヲ生シ此不満ヨリ害惡ナル

結果ヲ生ガル者ナルガ故ニ此害惡ナル結果ヲ避シガ為メニ囚人ニ(囚人若シ望マバ)決然陪審者ヲ除去スルノ自由ヲ與フルナリ
 結極否拒ノ此特許ハ假令ト囚人ニハ之ヲ許スト雖氏國王ノ一方ニ向テハ許サレザル者トス而シテ國王ノ一方ハ原由ヲ出スニアラザレバ陪審者ヲ否拒シ能ハザル者ナリ然レ陪審名簿中ノ人負否拒シ盡シ其否拒セラレタル人ヲ用スシテハ滿數陪審ヲ得ル能ハザル場合ニアラザレバ國王ハ其否拒ノ原由ヲ顯示スルヲ要セ

ザル者トセラレタリ而ル後(以前デナク)國王代
 言官ハ之レガ原由ヲ顯示セザル可カラサル者
 トス否ラザレバ其陪審官ハ二十キヲ誓詞ヒザ
 ル可カラザル者トス(原注)若シ原由ノ否拒アル
 中ノ二箇ノ人ガ其否拒セラレシラザル陪審者ガ無
 誓詞ヲ偏ヲ取レテ此囚人ヲ吟味スルマヨ審査スベク
 キ証據ガ出サレ而シテ彼ノ二箇審査支保スベク
 從テ該陪審者ガ許サレ或ハ拒絶セラハル、判決
 嘗テオコイグリ謀叛罪吟味ノ時一箇
 ノ陪審者アリ囚人ヲ監視シ無賴ナルヲ除去セラレ
 リシ語ヲ吐キシガ為メニ陪審タルヲ除キテラレ
 然レ囚人ノ「結極否拒」ハ至當ノ境限ヲ以テ之ヲ

制セザル可カラズ此境限ハ慣習律ニ於テ三十
 五之ヲ詳言スレバ三箇ノ満數陪審者ニ一ヲ欠
 ク(三箇満數陪審ハ三十六人ナリ)所ノ數ニ制限
 セラレタリ是レ法律若シ囚人之レニ超過シタ
 ル數ニ否拒ヲ為スアラバ此囚人ハ全ク吟味セ
 ラル、一ヲ望マザル者ト思考スレバナリ此三
 十五箇ノ數ハ二十ニ減セラレ而シテ此二十ニ
 超過シタル凡ノ「結極否拒」ハ無効トセラレタリ
 故ニ若シ二十ニ超過シタル否拒アル時ハ此否
 拒ガナサレザリシト同一ニ法律ノ手順ヲ施行

スル者トス

若シ否拒ノ理由ニ因ルカ又ハ陪審者欠座ノ故
 ヲ以テ通常ノ陪審名簿中ヨリ満數陪審ガ得ラ
 レ能ハザル時補欠陪審ガ民法訴訟ノ場合ニ於
 ケルガ如クニ呼出サル可シ而シテ此補欠ハ十
 二人ノ數ニ満ルヲ要シ我々ノ女皇陛下ト陪審
 官ガ讀責スル所ノ囚人トノ間ニ善且ツ實ナル
 吟味ヲ為シ證據ニ從フテ誠實ナル判決ヲ與フ
 可ク誓詞スル者ナリ
 若シ或ル原由（否拒等ノアルアラバ陪審官ノ二

ナキ誓詞ヲ取り而シテ「インダイトメント」ガ一

般ニ公讀セラレ國王ノ代言官ニ依テ證據ガ陳

述セラレ（即チ求刑按）囚人或ハ囚人ノ代言人ガ

民法上ノ場合ト同様ニ相對審スベク許サル、

者トス（原注）ウイリヤム四世即位六年七年ノ制

セラレタル囚人ニ代言官ノ助言ヲ為マテ附罪

シタリ然レ英國慣習律ノ定則ハ重罪ノ囚人ニ

就テ法點ノ上ニ議論ガ起ルニアラザレバ囚人

ニ助言人ヲ用ユルヲ許サズ、ナリ故ニ重罪人

ニ助言人ヲ許スハ法トシ之ヲ信シ難キ者ニ

判官全員ニ依テ反對セラレタリ
 刑法訴訟ノ答辨ニ就テノ證據法ハ大槩民法上

訴訟ノ證據法ニ同シキ者ナリ然レ民法上ノ証
 據ト刑法上ノ證據トノ間ニ為サル所ノ差異
 ニ就テ數箇ノ重モナル點アリ其點ハ左ノ如シ
 第一謀叛罪及謀叛不告罪其謀叛者タルヲ
 知テ之ヲ告ゲズ然
此之レト謀ヲ
 通ゼサル者ノ凡テ、場合ニ於テハ二箇
 ノ依法ノ證據人ガ其囚徒ヲ証罪スベク要
 セラル、者トス而シテ二箇ノ證據人ノ証
 據ハ共ニ謀叛ノ同一ノ公犯ナラザル可カ
 ナラザル可カ
 ラズ或ハ同一謀叛罪ノ種類ニ就テ甲公犯
 ハ甲公叛ト同ジク乙公犯ハ乙公叛ト同一

ナラザル可カラズ而シテ「インダイトメン
 ト」ニ於テ明了ニ記入ナキ證據ハ凡テ公犯
 ヲ證明スル為メニ用ユルヲ許サズ故ニ
 ソルジヨンフィンウイツクノ場合ニ於テ
 (ウイリヤム三世ノ時)只一箇ノ證據ガアリ
 シガ故ニ議院ノ法令ハ謀叛罪トシテ同氏
 ヲ沒取スベキ目的ヲ以テ制為セラレ之レ
 ニ依テ同氏ハ死刑ニ處セラレタリキ
 第二刑法裁判所ニ於テハ一般ニ同類ヲ以テ
 同類ノ證據人トスルヲ許セリ是レ所謂

ル女王ノ証據ト云フ所ノ者ナリ而シテ若
シ斯ル同類証據ガ不確ナク詐欺ナクシテ
充分且ツ完全ナル謀叛ノ發檢ヲ為スアラ
バ此同類証人ハ刑ヲ免ル、一ノ含蓄ノ信
約アリ同類証據ト他ノ証人ノ証據トヲ比
較シテ之レガ輕重ヲ為スノ制法ハアラザ
レ氏陪審官ハ常ニ此等ノ証人ノ不確實ナ
ル証據ニ依テ囚人ヲ証罪セザラン一ヲ注
意セリ

第三刑法手順ニ於テ凡テ夫タル者凡テ妻タ

ル者ハ夫妻相互ノ為メ又ハ夫妻相互ニ逆
フテ証據ヲ與フル一ヲ許サズ故ニ妻ハ其
夫ガ二妻罪ヲ犯セシガ為メニ証罪サル、
時妻ハ出テ、己レガ正婚タル一ヲ證明ス
ル一能ハザル可シ而シテ夫モ亦己レガ父
母ノ許可ヲ待タズシテ妻及其他ノ人ガ己
レト結婚セン一ヲ企テシ一ヲ以テ証明ス
ル一ヲ許サレザル可シ然レ該法則ニ就テ
必須例外ノ法アリ即チ夫ガ直チニ妻ニ對
シテ刑罪ヲ犯セシ場合ノ如キ是ナリ故ニ

妻タル者夫ノ暴力ノ奪取又ハ暴力ノ婚姻ニ遇フ時其遇フタル妻ハ夫ノ罪ヲ証明スルニ充分ナル証據人タル可シ或ハ夫ノ為メニ妻ガ鬪毆ヲ受クル時或ハ妻ガ強姦ニ遇フ時其夫強姦者ヲ助クル時ノ如キ或ハ一般ニ妻ノ自由及ヒ身体ニ對シテ罪ヲ犯セシ時ノ如キ妻ハ之ヲ証明スベキ充分ナル証據人タル可シ

第四「デポシション」ヲ為セシ所ノ人ガ死没セシ欵或ハ又「デポシション」ヲ為セシ所ノ人

ガ病ニ罹リ歩行スル能ハザル欵或ハ又「デポシション」ガ犯罪者ノ面前ニ於テ為サレシ欵或ハ犯罪者又ハ犯罪者ノ助言人ガ其犯罪ノ証據ニ對シ對審スベキ充分ナル機會ヲ有スルアラバ保安官ノ前ニ適當ニ取ラレタル証人ノ「デポシション」ハ犯罪者吟味ノ時ニ於テ証據トシテ許サル、者トシ

第五重罪ニ就テ凡テ推測ノ証據ハ充分ノ注意ヲ為スニ非レバ許サレザル可シ何トナレハ法律ハ一人無罪ノ人ガ罪ニ罹ンヨリ

ハ寧ロ十人有罪人が罪ヲ逃ル、一ノ勝レ
ルニ如カズトノ意ヲ保テバナリ茲ニ二箇
ノ格段ニ注意スベキ者アリ第一知ラザル
人ノ貨物ヲ竊盜スル一ニ向テ何人ヲモ決
シテ証罪スル一ヲ得ザル可シ是レ只其竊
盜人が如何ナル由ヲ以テ該貨物ニ接近ス
ルヤノ由ヲ知ルニ由ナケレバナリ但シ現
行重罪ガ該貨物ニ就テ証明セラル、者ハ
此限ニアラズ第二死体カ發檢セラル、マ
デハ謀殺人又ハ誤殺人ニ就テ決シテ其罪

ヲ証明スル一ヲ得ザル是ナリ

第六民法取扱上ニ就テ許スベキ者ト區別シ

テ犯罪ノ自白及ヒ自認ハ刑法吟味ニ於テ
証據ノ異項ヲ為セリ故ニ委任セラレタル
保安官ノ前ニ為セシ犯者ノ説明ヲシテ犯
者吟味ノ時ニ之ヲ証據ト為サシメン為メ
ニハ陪行セザル可カラザル法式ガ刑法上
ニ記入セラレタリ犯者自首シテ或ル人ニ
向ヒ(拘留前デアレ拘留後デアレ及ビ言語
デアレ筆記デアレ)為シタル犯者ノ他ノ説

明（他トハ上ノ保安官ノ前ニ為セシ説明ガ
ニ對スルナリ上文ト混ズルナカレ）
犯者自身ニ逆フテ証明セラル、ヲ得ベシ
然氏犯罪者言語上ノ自首ノ證據ハ非常ノ
注意ヲ以テ取ラザル可カラザルノ規則タ
リ

第七臨終ノ發語ハ殺害罪（殺害罪トハ正視ス
ベキ者アリスベカ
ラザル者アリ今云フ所ハ）ノ場合ニ於テノ

正視スベカラザル者ヲ云ハノ場合ニ於テノ
ミ取用スベキ證據ノ一種トス蓋シ臨終者
ノ死ガ有罪ヨリ生ゼシ者ナラザル可カラ
ズ而シテ臨終者ノ形勢ガ將ニ死セントス

ル時ノ末斯ナラザル可カラズ此臨終發語
ノ証トシ許用サル可キ主義ハ他ナシ臨終
ニ於テ為シタル斯ル發語臨終者ガ末斯ノ
極ニ至ル時人欲世界ノ希望ハ既ニ絶ヘ虚
誕妄說ノ念凡テ絶ヘ而シテ其心ハ誠實ヲ
説話スベキ最モ強キ感覺ヲ引起スル者ナ
ルガ故假令ヒ主害者現場ニアラスト雖氏
主害者ノ現場ニ於テ誓詞ノ上ニ被害者ガ
發言セシ證據ト同一ノ重量ヲ有スルガ故
ニ因レリ而シテ此等ノ發語ヲ許用スル

ニ就テ三箇ノ必須ナル者アリ第一此等ノ
 發語ガ為サレシ時臨終者ハ臨死ノ實地上
 ノ危極ナラザル可カラズ第二臨終者ハ十
 分ニ該危難即チ死ノ免レ難キ者ナラザル
 可カラズ第三臨終者ノ死ハ時ヲ移サズシ
 テ追隨スル者ナラザル可カラザル是ナリ
 第八刑法ノ場合ニ於テノ被告ハ己レガ平生
 ノ修行ハ以前ニ善良ノ性質ナリシヲ証
 明スル為メニ証據人ヲ召出スヲ許サル
 者トス第一其附罪セラレシ罪ガ騙欺、横

領及ヒ欺詐ナル時ハ其平生ノ修行廉正ナ
 ルヲ証明シ第二其附罪セラレシ罪形体
 上ノ暴力ヨリスル者ナル時其平生温和ノ
 修行ヲ証明スル是ナリ斯ル証據ハ緊要ノ
 者トス何トナレバ此等修行良善ナル人ガ
 斯ル法律ノ破毀ヲ行フニハ反思スル者ナ
 ルヲ決スルニ就テ重要ナル者ナレバナ
 リ然レ此修行上ノ証據ハ其性質其求刑ノ
 為メニ出シタル証據ガ不充分ナル時唯陪
 審官之ヲ以テ其求刑ノ証據ニ附加スル所

ノ証據トス如何トナレバ國王ハ該被告者
 ガ其平生凶惡ナル性質ヲ証明スベキ証人
 ヲ呼出、外ハ格段ナル不品行其平生ニ反シタル品行
 ヲ指ナル行為、証據ヲ以テ平生善行ノ証
 據ニ反對スル能ハザレバナリ以上ヲ刑法
 証據ノ民法証據ニ異ル者トス
 刑法吟味ノ間及ヒ別シテ求刑ノ場合ノ終ニ於
 テ往々被告者ニ向テ証明シタル事實ガ譴責シ
 タル罪ヨリ小ナリトノ批評ヲ起ストアリ或ハ
 インドイトメントトヲ支保センガ為メニ出シタ

ル証據ハ其証罪按ニ正適セザルトノ批評ヲ起
 ストアリ審問ノ未タ深ク至ラザル場合ニ於テ
 証據ヲ許用スルト又ハ廢除スルトニ就テ批評
 ガ數々起リ此等批評ノ中該法庭ノ直決ヲ與フ
 ルニ甚タ難キ難問ノ生スルトアリ若レ斯ル難
 問生スル時其難問ハ上等法庭法官ノ思考ニ委
 托セラル、トヲ得該上等法庭ノ法官ハ委託サ
 レタル刑法ヲ思考セン為メニ法庭ヲ開クトヲ
 要セラレ、而シテ既ニ與ヘラレタル判決ヲ破毀
 シ又ハ確忍シ又ハ改竄シテ該法官ノ判決ヲ公

開ノ法庭ニ於テ發スベク要セラレ、或ハ若シ証
罪按既ニ與ヘラレ而シテ判決未ダ發セラレザ
ル時如何ナル法庭ト如何ナル時トヲ撰バズ之
レガ判決ヲ為セヨト指令スルヲ得ル者ナリ
此方法ニ於ケル難問ノ委托ハ犯罪吟味犯罪吟
成ノ後ノ吟味ヲ云フ制ト関涉ヲ為サザル可シ何
トナレバ此難問委托ノ必須不可欠者トナル者
ハ只証罪按ノ時事ノミニ於テ起ル者ナレバナ
リ言ハ未ダ犯罪吟又此難問委托ハ上告裁判所
ノ味ニ至ラザル時又此難問委托ハ上告裁判所
ノ備補スベキ裁判權ト衡着セザル可シ何トナ

レハ此等委托ノ難問ヲ審決スル所ノ法官ハ只
下等法庭ノ審決ヲ以テ己レノ審決ヲ助クルノ
ミニシテ此下等法庭ハ難問ノ委托ヲ為スト為
サザルトハ己レノ獨意ニ皈任セラレ而シテ若
シ証罪按ヲ確認セバ之レガ判決ヲ為スハ全ク
己レノ權内ニ附托サレタルノ法庭ナレバナリ
救刑ノ為メノ證據終ル時國王ノ代言人ハ若シ
囚人が己レノ證據ヲ添加スベキ目的ヲ説言ス
ルトアレバ陪審官ニ其意ヲ報ズルノ自由アル
可シ然時囚人防禦ノ法ガ開カレ而シテ之レノ

証據が添加セラレ囚人ノ助言人ハ對審吟味ニ於テ陪審官ニ向テ其証據ノ大意ヲ略述シ而シテ國王ノ代言人ハ之レニ向テ答辯ス囚人若シ己レノ証據ヲ添加スルヲ企テザル時囚人ノ助言人ハ直ニ求刑ニ向テノ証據ニ就テ吟味サル、可シ此場合ニ在ツテハ國王代言人ハ之レニ答辯スルヲ甚タ少ナリ次テ裁判官ハ其証據ノ全部ヲ陪審ニ命ジテ吟味セシム此陪審官ハ分明ニ止ヲ得ザル場合アルニアラザレバ陪審判決ヲ與ヘシマデハ解散スル能ハザル者ニシ

テ其証據ヲ考定シ民法上ノ訴訟ト同一ノ法式ヲ以テ陪審判決ヲ與フル者ナリ只異ル所ハ刑法ノ場合ニシテ其罪生命又ハ四肢ニ關スル者ハ陪審官内密ノ判決（内密ノ判決トハ公開ノ法
庭上ニ判決ヲ與ヘズシテ法官ノ私室等ニ於テ判決ヲ與フル者）ヲ與フ能ハザル是ナリ而シテ陪審判決ニ二種アリ一ハ一般判決一ハ特質ノ判決ニシテ一般ノ判決トハ只有罪ト判決スル歟否ザレバ無罪ト判決スル者是ナリ特質ノ判決トハ其場合ノ時狀ヲ詳明シ而シテ其説明シタル事實が謀殺罪ナルカ或ハ誤殺罪ナルカ

又ハ全ク無罪ナルカニ就テ法庭ノ審決ヲ求ム
 ル是ナリ此特質ノ判決ハ若シ陪審官ガ法律上
 ノ事ニ就テ疑ヲ起シ而シテ此疑ノ為メニ法庭
 ノ審決ニ之ヲ委附スル時起ル者ナリ然レ陪審
 官ハ若己レノ誓詞ノ破毀ヲ試ル（陪審ノ判決ハ
 精確ナラザル可カラズ而ルニ其事情錯雜同
 シテ之ヲ精確ニスル能ハズシテ之レニ一般ノ
 判決ヲ與フル時ニ或ハ陪審者タルノ誓詞ヲ破
 ルノ恐ナキ能ハズ故ニ誓詞ノ破毀云云ト云フ
 適當ナリト思考セバ凡テ其時狀ヲ審決シ而
 シテ一般判決（特質ノ判決ヲ為サズシテ）ヲ為ス
 ノ特權ヲ有スル者ナリ

若陪審官其囚人ヲ無罪ナリト見認スル時該囚
 人ハ永久其附罪ヨリ放棄解免セララル、者トス
 而シテ求刑ノ不充分ナルガ為メニ斯ル放棄解
 免ニ依テ囚人ハ大槩直ニ自由ニ置ル可シ然レ
 若シ陪審官之ヲ有罪ナリト見認スル時囚人ハ
 其証明セラレタル罪ニ向テ証罪サル、可シ故
 ニ此口供按ハ二箇ノ法ヨリ起ルヲ得即チ囚
 人自首ニ依テ起ル所ノ口供及ヒ陪審官ノ判決
 ニ依テ斯ク見認サレタル口供是ナリ
 若シ囚人其罰死罪ニ至ラザル重罪ヲ以テ譴責

セラレシ者ニシテ既ニ以前重罪ヲ以テ証罪サ
 レシ者ナラバ「インダイトメント」ハ一般ニ其以
 前ニ重罪ニ依テ証罪サレシ後又重罪ヲ犯セシ
 ナランヲ以テ之ヲ譴責ス而シテ立法官ハ斯ル
 重罪犯人ヲ懲ラシムル殷鑑ヲ鞏固ナラシメン
 ガ為メニ初犯ニ向テ被スル得ル所ノ犯罪宣
 告ヨリハ嚴格ナル犯罪宣告ヲ再犯者ニ被ス可
 キ權力ヲ法庭ニ與ヘタリ然レ假令ヒ囚人ハ斯
 クノ如キ譴責ヲ受クルト雖レ陪審官ハ只其陳
 述サレタル罪ニ就テ有罪ナルカ又無罪ナルカ

ヲ吟味スルノミノ命ヲ受ク而シテ陪審官若シ
 該囚人ノ以前ノ証罪後ニ犯セシ罪ヲ檢出スル
 アラバ陪審官ハ(若囚人が其罪ヲ拒ムトアラハ
 然ル時再ヒ犯罪申告ヲ受ケ或ハ其以前ノ口供
 按ニ関スルトヲ吟味スベク命セララル、者トス
 犯罪人口供ヲ取ラル、時茲ニ直ニ生起スル所
 ノ二箇ノ枝出ノ時狀アリ即チ第一求刑ニ就テ
 消費ノ關係第二騙欺ノ場合ニ於テ其盜ミタル
 財産ノ回復是ナリ
 第一口供成ル時或ハ若シ騙欺又ハ他ノ重罪

ニ就テ求刑スベキ至當ノ道理アルアラバ
 無罪ト斷セラル、時スラモ求刑者及ヒ出
 証人ニ就テ起リタル至當ノ消費ハ求刑者
 及出証人ニ與ヘラル、可シ此消費中ニ保
 安官ノ前ニ求刑人出証人が出ツルトニ就
 テ起ル所ノ消費ヲ含有ス該保安官ノ前ニ
 出ツル所ノ消費ハ假令ヒインダイトメン
 ト按ガ制為セラレザル時ト雖モ與ヘラル
 、者トス又之レト同一ノ規則カ刑法ノ性
 質ヲ帶フル所ノ輕罪ノ求刑ニ就テ取用セ

ラル可シ

充分近時マデハ訴訟入費及諸費ハ犯者及
 ヒ証據人タル者其費ヲ公庫ニ仰グトヲ得
 ガリキ(此時ニ當リ囚人ハ其赤貧ノ為メニ
 己レノ利益ト成ルベキ証人ヲ呼ブ能ハザ
 ルトヲ數々歎訴スルニモ係ハラズ)然モ此
 不正今ハ回療セラレ若シ囚人保安官ノ前
 ニ己レノ証人ヲ呼ビ而シテ該証人ノ証據
 ガ筆記セラレ而シテテボシシヨシノ一部
 分トセラレ而シテ該証人公記ニ記入セラ

レ吟味ノ時ニ出庭スベク羈束セラレ而シ
 テ出庭スルアラバ此等ノ凡テノ場合ニ於
 テ法庭ハ求刑ノ時ニ証人ヲ呼ブ場合ト同
 様ニ証人ノ消費及ヒ時間ノ損耗ニ向テ之
 レガ還償ヲ為ス¹ヲ命スルノ権力アリ
 第二慣習法ニ依ラバ¹インダイトメント¹了リ
 テ竊盜物ヲ返還スルノ法アラザリキ何ト
 ナレバ竊盜物返還ハ只國王ノ訴訟（公物竊盜ノ場
 合ヲ）ノ時ニ於テノミアレバナリ故ニヘン
 リ¹八世即位二十一年十一章此十一章ハ

近世許多ノ制律ヲ以テ再制又ハ擴張セラ
 レシ者ニ依リ若シ人アリ盜マレタル人ヨ
 リ出ス所ノ證據ニ依テ騙欺罪ヲ以テ証罪
 セラル、時此被盜人ハ己ノ金圓貨物及ヒ
 物品ノ充分ナル回復ヲ得ベシ或ハ犯罪人
 若シ財産ヲ有スル者ナラバ此犯罪人ノ物
 品ニ依テ盜マレタル物品ヲ回復スルヲ得
 ベキ¹ヲ制可シタリ此制法ニ依テ騙欺罪
 ノインダイトメント¹ノ後贓物回復票ノ力
 ハ斯ク盜マレタル物品ニ向テ効力ヲ有ス

其竊マレタル物品所有權が公市場（公市場トハ市政
 府ノ免許ニ依テ公市ヲ為ス者ニシテ龍動
 府ハ且此公市場ニ出テ賣却セラルル者
 ハ之レガ所有權ハ大槩買者ニ移轉スル者
 ナリニ於テ賣却ニ依テ變遷スベク為サル
 、ニモ係ラズ回復票ノ効力ハ尚ホ存スル
 者トス而シテ此回復法ハ買者ニ取テ稍ヤ
 苛酷ニ似タレモ法律ノ常則ハ尚ホ存スル
 者トス其常則ニ曰ク竊盜物ハ他物ヲ為ス
 ニ先ツテ回復セラル可キ者トスト別シテ
 被害者ガ該重罪ヲ証罪セントニ力ヲ盡セ

シ時ハ此法則ノ力殊ニ強シ又物品所有者
 ト物品買者トカ共ニ其害ヲ受ケザル可カ
 ラザル場合ニ迫ル時法律ハ只不正ナル取
 扱ヲ為ササルノミノ消極者ナル買者ノ權
 理ヨリハ犯罪者ヲ懲罰ニ從ハシムル為メ
 ニ有功ナル行為ヲ為セシ人即チ物品所有
 主ノ權理ヲ重尊ス故ニ法庭ハ一般ニ犯罪
 者証罪了ルノ後求刑者ニ向ヒ其盜レタル
 財産ノ直接ノ回復ヲ命スルハ凡テ一般ノ
 法ナリ然レズル回復票ハ或ル人ガ有價ノ

保証物（為替手形ノ如キ者ヲ云フ）ニ對シ已
 レ義務者トナリ誠實ニ之レガ拂又ハ解約
 ヲ為ス場合ニ於テハ命セララル、能ハズ又
 ハ該物品ハ竊盜物ナリトノ疑ヲ起マベキ
 至當ノ道理ナクシテ有價ノ起約原因ニ向
 テ誠實ニ受取タル通流スベキ有記証ノ場
 合ニ於テヤ命ゼラル、能ハザル可シ（言ハ
 スベキ有記証トハ銀行切手ノ如キ者ニシ
 テ此切手ノ竊盜物タルヲ知ラズシテ或人
 ガ或約因ノ為メニ之（之）然氏回復票ヲ要セス
 ヲ受取リシヲ云フ所ノ財産所有者ハ其物品
 シテ其盜マレンシ所ノ

ヲ檢出マル何時タリトモ平和ノ手段ヲ以
 テ其物品ヲ回復スルヲ得或ハ訴訟ヲ起シ
 其受ケタル損害ヲ回復スルヲ得然氏損
 害回復ノ訴訟ハ求刑以前ニ起サレザルベ
 シ（損害回復訴訟ハ民法ニ屬シ）何トナレ
 而シテ求刑ハ刑法ニ屬セリ（何トナレ
 バ斯ル損害ハ求刑手順ヲ以テ償ハレ回療
 セラル、者ナレバナリ而シテ此犯罪者ヲ
 捕フルモ此犯罪者ヲ隱秘ン或ハ犯罪者ト
 示談スルノ目的ヲ以テ之ヲ捕フルナラバ
 此拘捕ハ法律ニ背ク者ニシテ是レ竊盜同

犯ノ罪トナルナリ情ヲ知ラズシテ竊盜物
ヲ買フノ人ニ向テ此法律ノ苛酷ハ犯者所
有ノ財産アル場合ニ於テ調和セラル、フ
得是レ法庭ハ此犯罪ニ依テ損耗ヲ受ケタ
ル人ニ之レガ償トシテ百磅以下ノ價額ヲ
犯者ニ命ズルノ権力ガ與ヘニレタレハナ
リ

茲ニ一般ニ行ハル、所ノ者アリ即チ人アリ若
シ襲撃罪又ハ拘留罪或ハ之レニ類似ノ罪即チ
直接ニ身体上ニ感觸スル所ノ輕罪ヲ犯シ之レ

ガ為メ証罪セラル、時法庭ハ裁判判決ヲ為ス
以前ニ被告ニ原告ト示談スルコトヲ許シ而シテ
原告ガ躬ヲ満足スルアラバ之レニ被スニ只輕
少ノ罰ヲ以テスルノ法是ナリ此法ハ原告ニ民
法上訴訟ノ煩勞迂曲ヲ為サズシテ其償ヲ取ラ
シメ原告ヲシテ内密ノ救償ヲ為サシムル為メ
ナリ然レ此法タル法律實行ニ於テ甚不安全ナ
ル者トス如何トナレバ被害者ノ一方ニ於テ其
被害ヲ忘棄スルコトスラモ正理ノ害ヲ防グ為メ
ニハ真個ノ政略ニアラザレバナリ罰ノ嚴格ト

寛和トヲ一様ノカト説ク所ノマーカイスベツ
 カリヤ氏云ヘルアリ曰ク「該法（原被示）タル善良
 ノ性質ニシテ且仁恤ノ行為ト云ヲ得ベシ然レ
 政畧ノ善策ニ就テハ反對シタル者ナリ何トナ
 レバ假令ヒ一箇ノ私人ハ己レノ一身上ノ害ニ
 向テ満足ヲ以テ止ムト雖レ該被害者ハ公社ノ
 例則ノ必須ヲ廢スル能ハザレバナリ懲罰ノ權
 利ハ格段ナル或ル一箇人ニ屬スル者ニアラズ
 一般ニ公社ニ屬シ或ハ此公社ニ代理スル國王
 ニ屬セリ而シテ私人ハ此權理ノ自分ノ一分ハ

廢シ得ルト雖レ他人ノ權理ヲ廢スル能ハザル
 可シ

裁判判決及其附出事

重罪犯ヲ以テ陪審官ガ犯者ノ面前ニ於テ陪審
 判決ヲ與フル時犯者ハ即時又ハ其後便利ノ時
 ニ於テ犯者ニ逆フタル此判決ガ與ヘラレザル
 ノ道理ヲ發言スルヲ無キヤト法庭ヨリシテ尋
 問セララル、者トス若シ犯者輕罪ト見認セラレ
 而シテ犯者一度法庭ニ出テシ後再ヒ法庭ニ出
 ツルヲ為サズ之レガ為メ犯罪者ノ不在中ニ吟

味ヲ為ス¹ヲ起シ而シテ時トシテハ其不在中
 ニ吟味ヲ為ス¹アリ此時ハ犯罪者ニ裁判判決
 ヲ受ケシメノ¹ガ為メニ捕縛令ヲ發スル¹ヲ得
 而シテ若シ犯罪者跡ヲ晦スアラバ犯罪者ハ法外人
 トシテ求刑セラル、ヲ得或ハ犯罪者出庭スベク
 公記中ニ記セラレ而シテ出庭スル¹ヲ為サシ
 レバ公記ノ大意ヲ抄出シ之レニ依テ犯罪者ヲ拘
 捕スベキ拘捕票ガ發セラル、者トス
 而シ犯罪者若シ躬ヲ出庭スル時此出庭ノ時又ハ
 呼出吟味ヲ受クル時裁判判決ヲ停止センガ為

メニ其¹インダイトメントニ向テ排按ヲ陳出ス
 ル¹ヲ得而シテ若シ犯罪者ノ排按ガ有効ノ者ナ
 ラハ(例セバ若シ犯罪者ガ法律ノ點ニ於テ有罪ヲ
 成立セザル者ト見認セラレ、場合ノ如シ)裁判
 判決ハ停止セラレ全キ手順ハ廢除セラレ可シ
 又赦典ガ裁判停止ノ時ニ於テ願請セラレ、ヲ
 得
 若シ排按又ハ赦典ガ其効ナキ時法庭ハ該判決
 ヲ宣告セザル可カラズ該判決ハ法律ガ其罪ヲ
 纏結セシ所ノ判決ナリ此等ノ刑罪中死罪ナル

者アリ是犯者が死ニ至ル迄之レガ頸ヲ絞スル
 一是ナリ以前ハ死罪ニマテ恐怖、痛苦、醜辱カ附
 加セラレタリ例セバ大逆罪ノ時處刑ノ場所マ
 テ犯者ヲ引廻シ斬首又ハ全体四斷スルガ如シ
 謀叛罪或ハ謀殺罪ノ時獄舎ノ境界中ニ之ヲ埋
 葬スル一ハ宣告書ノ一部分タリ又或ハ永久又
 ハ一時ノ罰役及ヒ禁獄ヲ以テ自由ヲ剝奪スル
 ヨリ成立スル者アリ又或ハ公職或ハ公務ヲ取
 ルノ性格ヲ剝グ一アリ故ニ謀叛罪又ハ重罰ヲ
 以テ証罪セラレ而シテ死罪ノ宣告ヲ受ケシ所

ノ人十二箇月以上苦役ト共ニ罰役（罰役トハ懲
 役場外ニ於テ）
 テ繩ヲ縛ハセ或ハ解カスル等種々ノ勞役ヲ云
 ヒ苦役トハ場内ニ於テ苦役スルヲ云フニ役混
 スル或ハ禁獄ヲ以テ証罪セラレ宣告セラレシ
 人ハ之レニ依テ國王ノ命ニ從ヒ己レガ保タル
 陸海武官或ハ文官ノ職ヲ沒取セラレ或ハ己レ
 ガ有シタル他ノ公務ヲ沒收セラレ或ハ寺院ヨ
 リ獲ル所、或ル利益或ハ己レガ保チシ所ノ大
 學校又ハ學校ニ於クル或ル公職又ハ職徳ヲ沒
 收セラレ或ハ己レニ賜リタル年限恩給ヲ沒收
 セラル可シ但シ証罪後二箇月間ニ自由赦典ヲ

受クル欵或ハ若公職ノ者ナラバ虚位（虚位トハ政黨ノ交
 退ヨリシテ其官職虚ガ満タサル、前自由赦典
 位トナル時ヲ指ス
 受クル者ハ此限ニアラズ此犯罪者ハ其罰ニ
 服従スル欵或ハ赦典ヲ受クルマデハ公職又ハ
 公社ヨリ或ル利益ヲ受クルト得ズ或ハ公會
 又ハ都府ノ投票權ヲ受クルト得ズ或ハ一定
 シタル又ハ不定ナル科料金ノ如キ只貨財ノミ
 ヲ以テ之ヲ罰スルトアリ又他ノ懲罰アリ此等
 ノ懲罰ハ鞭撻又ハ苦役ノ如ク多ハ身体上ノ痛
 苦ノ多少ノ度ヲ以テ混同スルト雖モ重モ之

ヲ醜辱スルノ意ヨリ成立スル者ナリ此醜辱上
 ノ罰ハ今ハ大槩禁獄ノ宣告書ト相伴ヒ宣告セ
 ラル可シ又幽室禁錮ナル者アリ此罰ハ多クハ
 重罪ノ場合ニ於テ命セラレ而シテ輕罪ノ重キ
 者ノ多クニ命セラル、ヲ得然モ幽室禁錮ハ一
 度ニ一月以上ヲ越ユルヲ得ズ又一年間中ニ三
 箇月ニ越ユルヲ得ズ又茲ニ記臆スベキ者アリ
 即チ杖罰是ナリ此罰ハ暴力ヲ以テ竊盜ヲ為セ
 シ場合ニ於テ命セラル、ヲ得
 犯者アリ既ニ以前ニ同一ノ罪ヲ以テ証罪サレ

シ場合ニ於テハ其罪ハ一般ニ初犯ノ者ヨリハ
 嚴ナル者トス而シテ二回刑罪ノ為メニ証罪サ
 レシ場合ニ於テハ(假令其罪前罪ト同一ノ者ニ
 アラスト雖^氏)此犯罪者ハ七箇年以内^ホリスノ
 鑑督ニ服従セシメラル、ヲ得該^ホリスノ鑑督
 ハ犯者ヲシテ其住所ヲ報告セシメ而シテ其住
 所ヲ轉スル時之ヲ其區ノ^ホ長官ニ届ケザ
 ル可カラズ而シテ轉スル後一箇月間ニ該長官
 又ハ長官ガ命スル所ノ他ノ人ニ届ケザル可カ
 ラス否ラザレバ此ノ犯者ハ捕ハレ上一年間禁

獄サル、可シ
 古時ニハ四支ノ一部ヲ斷チ又烙印セラル、所
 ノ或ル罪アレ^氏今ハ全此等ノ罪ナシ^{街示罪}ハ
 久シク罰則中ヨリ廢セラレ罰金或ハ禁獄或ハ
 罰金禁獄併科ヲ以テ以前ニ^{街示罪}ノミヲ以テ
 被ラサル可キ場合ニ代用セラレタリ^{械罪}及
 ビ^{投水罪}丁字形戒器ヲ水中ニ立テ其一端ニ凶
 テ懲戒ス^ルハ長ク世ニ用ヒラレズ近時立法官ノ
 目的ハ成ル可キ罪人ヲシテ悔悟ヲ起サシムル
 ニアリ

此目的ノ為ニ改良學校ガ設立セラレ此學校ニ向テ幼年犯罪人(之ヲ詳言セバ十六年以下ノ証罪サレタル囚人)ガ入レラレ若シ場合ガ要スルアラバ五箇年間入レラレ若シ其父母資力ノ及ブ者ナラバ其幼年犯罪人ノ支保ヲ為スベク要迫セララル、者トス此等ノ校舎ノ支配人ハ犯人入校ノ若干時限ノ後信用スベク且ツ敬宗スベキ人ニ從ヒ同棲スベク犯者ニ許ス所ノ免許ヲ與フベキ権力アリ而シテ其後支配人躬ヲノ承容ヲ以テ其犯罪人ヲ他日公社ノ有要ナル人

負ト轉ジ而シテ人負トナルニ足ル可キ若シ斯ノ如ク取扱ハル、ナラバ)或商業又ハ職業或ハ勤務(勤務トハ奉公仕官ノ如キ類ヲ指ス)ヲ學バシメン為メニ此等ノ人ニ犯者ヲ入侍セシムルヲ得ヘキ権力ヲ有セリ該入侍及ヒ免許ヲ得ルノ利益ハ若シ犯者在校中校中規則ヲ犯スアラバ之レニ依テ沒取セラル、得ル者ナリ罰ノ分量及ヒ度ハ一定ナシト雖モ罰ノ種類ガ各箇ノ罪ニ就テ一定セララル、ハ英國法律ノ特質ナル外形ナル者トス若シ裁判判決ガ裁判

官一箇ノ説ニ出ヅル者ナラバ國民ハ將ニ官吏ノ奴隸トナラントス若シ一定シタル罰則ガ其犯シタル罪ニ配結セララル、時犯者ハ此國法ニ於テ其罪ノ結果ヲ考フルヲ得此國法ハ一定不動ノ規則ニシテ犯者ノ行為ニ就テハ不變不動ノ裁判官タル者ナリ裁判官獨意ノ科金及ヒ裁判官獨意ノ禁獄ノ時限（此ハ法官ノ獨意ヲ以テ被ス）ヲ得ル者ハ此不定不動ノ規則ノ例外タル者ノ如シ然レ裁判官ノ獨意ハ法律ニ依テ制規セラル、ヲ得權理憲法ニ分明ニ制シテ曰

ク「過度科金ハ課セララル、可カラズ慘酷又ハ非常ノ罰ハ被ラサル、可カラズト又同上ノ憲法ニ附説シテ曰ク「証罪按成ル以前ニ格段ナル人ノ科金ノ許又ハ科金ノ約束及ヒ沒取ハ違法ニシテ無効ノ者トス而シテ刑罪ノ場合ニ於テ科金ノ至當ノ度ハ」（シヨ）王大契第十四章ニ依テ制規セラレタリ其文ニ曰ク何人タリトモ其人ノ形勢即チ其人ノ動産（モビールイステート）ガ負荷スルニ堪ヘ能フヨリハ之レニ超過シタル科金ハ課セラレザル可シ地主タル者ハ其土地ヲ除去スベシ商人タ

ル者ハ其商法物品ヲ除去スベシ地方ノ人民ハ
 鋤耕牛及ヒ耕耨ノ器具ヲ除去スベシ
 古時ハ死罪ノ宣告書ガ與ヘラレシ時犯者ハ血
 統ヲ穢ス者ト云ハレ此犯者ハ最早人ト信義ノ
 交際ヲ為ス能ハズ証據人ト為ル能ハズ他人ノ
 職務ヲ實行スルノ性格ヲ剝ガレタリキ何トナ
 レバ該犯者ハ法律上死人ト見認スルガ故ナリ
 此血統穢ニ附隨スル者ハ財産ノ沒取血統ノ腐
 敗是ナリ（血統腐敗トハ貴族タルノ族爵ヲ失フガ如キ類）
 沒取ニ二類アリキ實産ノ沒取動産ノ沒取是ナ

謀叛大罪ヲ犯シタル血統穢人ノ實産ニ就テ該
 犯者ハ己ノ土地及ヒ相續不滅産及ヒ凡テ己レ
 ノ土地進入（進入トハ前借地人満期ノ時己レ直
 權理ノ權理ハ國王ノ為メニ沒取セラレ而シテ
 又七地ヨリ出ル所ノ收益及ヒ相續産ノ收益終
 身所有デアレ年限所有デアレ）モ國王ノ為メ沒
 取セラレ可シ此沒取ハ謀叛ヲ起セシ時マデ逆
 行スル者トス例ハ謀叛ヲ起セシ當初ヨリ處
 刑ニ至ルノ間ニ為シタル賣買及ヒ利益ハ皆無

効トセラル可シト雖氏謀叛未ダ發セザル以前
 ノ賣買及ヒ利益ハ沒取セラレザル者、如キ是
 ナリ其所以ハ政府ノ根本主義ヲ破毀セシ人ハ
 公社ト結合スルヲ絶タレシ者ニシテ最早公
 社ノ社員トシテ以前ニ清白ニ己レニ屬シタル
 諸箇ノ利益ヲ取ルノ權理ナシト云フノ思考ヨ
 リ出デシ者ナリ而シテ此公社ノ利益中他人ニ
 己レノ財産ヲ讓與スルヲ權理ハ利益中ノ大
 ナル者ナリ
 重罪ノ為メニ血統穢サレタル犯者ハ終身自由

借地自由借地トハ借地ヨリ出ツル所ノ凡テノ
 借地權ノ最モ強キ者
 收益ヲ失フ而シテ謀殺罪ヲ犯セシ者ハ其死刑
 後無限借地有限借地デナク、土地及ヒ不滅産
不滅産トハ土地等ニ屬シ有形物無形物ノ所有
權寺院僧薦舉權ノ如キハ無形不滅産ノ一ナリ
 ヲバ甚ダ短小ナル時限中國王ノ為メニ沒取セ
 ラル可シ之ヲ詳言セバ一年ト一日ノ間國王ガ
 己レノ意ニ任カセ犯者ノ土地ヲ荒蕪スルヲ
 得ル是ナリ故ニ此時限中ハ國王ノ歲國王ノ日
 國王ノ荒蕪ト名ケラレタリシ
 重罪ニ就テ、上文ノ沒取ハ血統穢ノ為メニ起

ル者トス故ニ自殺罪ニハ相續ノ土地又ハ自由
 借地ヲ沒取セラレザル可シ何トナレバ自殺人
 ハ嘗テ血統穢トセラレザレバナリ此自殺罪モ
 一樣ニ自殺罪ヲ犯セシ時マテ逆行セリ故ニ自
 殺ヲ犯セシ以來ノ責任及ヒ財產讓與ハ凡テ無
 効トス
 動産ニ就テノ沒取ハ謀叛ノ如キ、謀叛不告罪ノ
 如キ、重罪ノ凡ノ種類、自殺罪、騙欺罪、ウエヌミン
 ストル院中ニ於テ鬪毆罪ノ如キ凡テ高等ノ重
 罪ニ就テ起ル者ナリ而シテ其動産ハ適當ナル

吏負ノ吟味ヲ要セズシテ直ニ國王ノ為メニ沒
 取セララル可シ血統穢ノ他ノ附出物ハ逆行或ハ
 順行ノ血統腐敗是ナリ故ニ血統穢ノ罰ヲ受ケ
 シ人ハ己レノ祖先ヨリ土地ヲ相續スル能ハズ
 既ニ己レガ所有タリシ土地ヲモ保有スル能ハ
 ズ又ハ或ル相續人ニ其土地ヲ遺屬スル能ハズ
 シテ其土地ノ所有主ニ販入シ該所有主ハ之レ
 ニ超過シタル國王ノ財產沒收權ニ從フ者トス
 血統穢セラレシ人ハ其子孫ニ對シ己レ祖先ヲ
 ルトヲ得ズ故ニ子孫ハ此血統穢者ヲ追ヒ遠隔

シタル祖先ヨリ己レガ血統ヲ導カザル可カラズ
 是レ則チ諾爾曼僭奪ノ時ニ於ケル封建國法
 ニ依テ取用シタル諸説ノ一ニ居ル者ナリ何ト
 ナレバ「ガキソ」ン借地法ニ於テハ此血統穢ノ法
 必定世ニ知ラレザレバナリ封建借地法ノ凡テ
 他ノ抑壓ナル法ガ幸ニ廢除セラレシ時此ノ血
 統腐敗ガ他ノ附出事ト共ニ（只現在ノ没取ノミ
 ナラズ二十世代ノ長キ間スラモ未來ノ相續權
 ノ没取ヲ以テ）一様ニ廢セラレザル可カラザル
 時ナリキ然ルニウイリヤム四世三年四年ノ制

律第百六章ニ依テノミ此廢止ノ目的ガ起効セ
 ラレ之レニ依テ凡テ祖先ノ血統穢ハ之レヲ相
 續スル所ノ人ヲ妨ゲサルトナリ即チ祖先罪
 責ナカリセバ相續スルニ適當シタル人ハ犯罪
 ノ祖先ニ相續スルトテ妨ケザルトナレリ
 此法律ノ改正ハ尚ホ之レニ超過シタル變化ニ
 依テ追隨セラレ之レニ依テ没取ノ法律ハ全ク
 寛厚ニシテ且ツ有惠ナル條款ニ依テ代置セラ
 レ血統穢即チ謀叛罪重罪ノ場合ニ於テ血統ノ
 腐敗、財産没收、財産没入法（財産没入トハ借地人
ノ借地主ニ没入

受クル後己レノ財産ハ己レニ復皈シ或ハ代理
 扶助料ヲ與フルヲ得該犯罪者ノ死後或ハ家
 還償ヲ為シ支保ヲ己レニ仰グ所ノ家族親族ニ
 擔ヲ拂ヒ己レガ犯罪ニ依テ害ヲ受ケタル人ニ
 入質讓與ヲ為シ己レガ負債ヲ償却シ己レガ負
 命スルヲ得而シテ被証罪人ハ其宣告書ヲ
 經行スルノ間ニ其所有地ノ借地約定賣買約定
 シテ國王ハ被証罪人ノ財産ニ就テ財產處分人
 ニ没取セラル、ヲ云フ國王ハ充分ニ廢セラレ而

人或ハ他ノ公許サレタル人ニ復皈スル者トス
 法外人ニ就テ没取ノ附出事ハ尚留存セリ何ト
 ナレバ反罪人ハ其國法ヲ輕侮ノ上ニ置ク可ク
 許サレ能ハザレバナリ然レ此國法ガ該人ニ與
 へシ所ノ財産ハ尚ホ受クルヲ得ベシ（言ハ犯者
 セシ後ハ依然其財
 産ヲ受クルヲ得）

裁判判決ノ破毀裁判停止及赦典

裁判判決ガ廢セラル、ヲ得ル者ハ左ノ如シ
 第一判決ヲ誤ルヲ判決ヲ破毀スルヲ依テ第
 二裁判停止ニ依テ第三赦典ニ依テ廢セラル、

ヲ得

第一裁判判決ハ裁判不當票ヲ以テ或ハ不當票ヲ用ヒズシテ破毀セララル、ヲ得判決ノ不當票ナクシテ破毀セラレ無効トセララル、ヲ得ル所以如何ト云フニ其不當ノ事物ガ是裁判不當票ノ事物ナリト指點セラレ能ハザル程ニ其判決書ノ表面ニ於テ顯出セザレバナリ故ニ若シ附罪セラレタル人ニ逆テ善良ナル委任ヲ有セサル人が判決ヲ與フルアラバ此判決ハ無効ノ者トナリ

而シテ裁判不當票ヲ要セズ只其不當ノ事物ヲ顯示スルノミニ依テ無効トセララル、ヲ得例ヘバインダイトメントヲ制為シ吟味センガ為メニ委任令ガ甲ト乙及ヒ其他ノ十二人ニ向テ發セラル、欵或ハ此十二人ノ中二人此二人ノ中ニ該甲カ又ハ乙ガ加入セザル可カラザル者ト令セラル、時彼ノ十二人ノ中ノ或ル人が該甲或ハ乙ニ關涉セシメズ出場セシメズシテ之レガ吟味ヲ為シタランニ此場合ニ當リ凡テノ手

順及ヒ判決ハ委任負ヲ用ヒズ（甲乙二人ラ
 シテ為シタル者ナルガ故ニ無効トセラレ
 而シテ裁判不當票ヲ用ヒズシテ只其委任
 欠乏ノ由ヲ口説スルノミニ依テ無効トセ
 ラル、ヲ得

裁判判決ハ裁判不當票ニ依テ破毀セラ
 ル、ヲ得此裁判不當票ハ凡テノ下等刑法裁
 判所ヨリ「グインスマン」庭ニ向テ置カレ
 控告裁判所ヨリ進ンデ上院ニ控訴スル時
 ニ起ル者ナリ不當票ハ「インダイトメン」ト

ニ誤謬ヲ為ス時持来ラル、ヲ得（例セハ犯
 罪ガ不適當且ツ不充分ニ「インダイトメン」
 ト中ニ記入サル時ノ如シ或ハ裁判判決又
 ハ公記ノ他ノ部分ニ誤謬アル時持来ラル
 、ヲ得（例セハ或ル人が詐欺ノ陪審官ニ依
 テ有罪ト見認セラレ而シテ重罪ノ判決ヲ
 受クル時ノ如シ輕罪ノ場合ニ於テ裁判判
 決ヲ破毀スル為メノ裁判不當票ハ其破毀
 ノ虚妄ナラザル理由ガ代言長官ニ向テ顯
 ハサル、ニアラザレバ許サレザル可シ然

ル後談不當票ハ代言長官職務上一般ノ權
 理ニ依テ許スベキ者ト理會セラル可シ然
 氏重罪ノ場合ニ於テ判決ヲ破毀スベキ裁
 判不當票ハ只國王ノ特旨ニ依テノミ許サ
 ル、者ニシテ國王ノ親書ヲ以テ明カニ保
 証サル、歟或ハ否ラザルモ代言長官ノ許
 容ニ依テ保証サル、ニアラザレバ許サレ
 ガル可シ
 法外罪ヲ破毀スルノ法ハ其法外サレタル
 人が出庭セシト同一ノ有様ヲ以テ之ヲ破

毀スルナリ該法外人若シ出庭答辯スル以
 前ニ法外罪ト判決サレシナラバ該法外人
 ハ出庭答辯スベク許サレザル可カラズ若
 シ証罪後ナラバ其罪名宣告書ヲ受ク可キ
 者トス然氏証罪後ニ發布シタル裁判判決
 ガ破毀セラル、時凡テ判決以前ノ手順ハ
 全ク廢除セラレ而シテ該破毀人ハ嘗テ全
 ク附罪サレサリシ如キノ位置ニ立ツヲ得
 ベシ然氏談破毀人ハ尚ホ同一ノ罪ヲ以テ
 他ノ求刑スル者ニ遇ハ、之レニ對シテ負

擔ヲ免レザル可シ何トナレハ最初ノ判決
ガ誤謬ヲ為スガ故ニ該人ハ未ダ嘗テ其罰
ヲ經ザレバナリ

第二裁判判決ノ實行ハ停止法ニ依テ無効ト
セラレ、ヲ得此停止法トハ取戻ノ意ニシ
テ一時宣告書ヲ中止シ之レニ依テ裁判實
行スル_トガ止メラレ、者ナリ此停止法ニ
二種アリ一ハ裁判官ノ隨意ニ依テ判決前
或ハ判決後ニ停止スル是ナリ例セハ裁判
官ハ陪審判決ヲ不満足トスル欵或ハ証據

ニ嫌疑ヲ起ス欵或ハ_{イン}ダイトメント_トヲ
不十分ナリトスル欵或ハ往々其重罪ハ輕
小ナル者ニシテ赦典ヲ請ハン為メニ猶豫
ヲ與ベキ犯罪人ノ性質ニ於テ愍恤スベキ
事情ノ起ル場合ノ如シ第二停止法ハ國王
ノ獨意ニ依テ起ル_トヲ得此第二ノ停止法
ハ國務尚書ノ一人ノ手ヲ經テ一般ニ許サ
ル、者ナリ
停止法ハ又_{子セツシテ}不得止法ニ依テ起ル_トヲ得例
セハ婦女ガ死刑ヲ以テ証罪セラレ而シテ

懷妊ナルトテ願訴スルガ如キ是ナリ此法
タル固ヨリ裁判判決ヲ止ムベキ原由トハ
ナラズト雖氏尚ホ之レガ分娩ヲ為スマデ
裁判實行ヲ中止スベキ者ナリ裁判實行ヲ
中止セシガ為メ此願訴ガナサル、場合ニ
於テ裁判官ハ其事實ヲ吟味センガ為メニ
十二人ノ嫁婦ヲ陪審トシ命セザル可カラ
ズ而シテ此十二人が該罪人ヲ孕婦ナリト
見認シ判決ヲ為ス時裁判實行ハ該罪人が
分娩スルマデ一般ニ停止セラレザル可カ

ラズ或ハ一般懷妊ノ期月ニ依テ其懷妊セ
ザルトガ証明セララル、マデ之レガ實行ヲ
停止ス可シ
又法律停止、他ノ原由アリ即チ犯罪者ガ
裁判判決ノ時ト實行ヲ宣告スル時ノ間ニ
狂氣人トナルガ如キ場合是ナリ如何トナ
レバ假令ヒ死罪ヲ犯ス時正氣タリト雖氏
若シ其後狂氣トナルナラバ該狂氣者ハ審
罪セラレ能ハザレバナリ若シインダイト
メントノ後狂氣トナルナラバ此狂氣者ハ

口供取ラレ能ハサル可シ若シ証罪ノ後狂
 氣トナルナラバ裁判判決ヲ與フ可カラズ
 若シ裁判判決後ニ狂氣トナルナラバ裁判
 實行ヲ命ス可カラズ如何トナレバ法律ノ
 考ハ若シ此狂人正氣ナラバ以上各箇ノ手
 順ヲ停止スベキ道理ヲ伸ベシナル可シト
 考定スルノ外他ノ事ヲ知ラザレハナリ故
 ニ証罪ノ時ト實行ヲ宣告スル時ノ間ニ實
 行ハ己レニ逆ラテ宣告サレザル可シトノ
 由ヲ陳述スルヲ望ムヤ否ヤヲ問フトハ確

然不可動ノ規則タリ而シテ犯者若シ狂氣
 ナリト明知セラル、時裁判官ハ己レノ獨
 意ヲ以テ裁判施行ヲ停止スルヲ得又停
 止スベキ者トス

第三最後ノ種類ハ赦典是ナリ法律ハ罪人ヲ
 愍恤スルノ主義ノ上ニ組立ラル、能ハザ
 ル者トスト雖モ裁判ハ惠恤ノ意ヲ以テ處
 辨セザル可カラサル者トス故ニ國王ハ單
 ニ國王自身ニ逆ヒ或ハ公社ニ逆フタル罪
 ヲ直ニ赦典スルヲ得國王及ヒ公社ニ逆

フタル罪ニ就テ茲ニ記ス可キ者アリ第一
 英國外ニ人ヲ投獄スル者ハ人身保護律
 制文ニ依リ之ヲ國法侮慢罪トシ不可赦典
 者トス第二若シ其罪人ヲ求刑スルコトガ重
 モニ民法上ニ関スル者ハ國王之レヲ赦典
 スル能ハザル可シ故ニ國王ハ人民妨害罪
 橋梁ヲ毀テ往來ニ害ヲ為スガ如キ類ヲ赦典スル能ハス（其妨害ガ救償セラレザル間ハ）或ハ其妨害ノ防
 キヲ妨グル如キ赦典ヲ為ス能ハザル可シ
 假令科金ハ其後廢セララル、ヲ得ト雖（其救償）

ハ民法ニ屬シ科金ハ刑法ニ屬ス又國王ハ
 故ニ國王ハ科金ヲ廢スルコトヲ得（又國王ハ）
 犯罪申告ガ為サル、後ニ至リ（衆民申告法）
 即チ罰金法（衆民申告法トハ例ハ官吏賄
 賂ヲ取ルカ或ハ官吏其職ヲ怠
 ルアル時何人ニ限ラズ之ヲ申告シ之レニ
 依テ其犯者罰金ヲ科セララル、類ノ法ヲ云
 フ今適當ノ譯）ヲ犯シタル罪ヲ赦典スル能
 字ヲ知ラズ何トナレバ申告人ハ此申告ニ
 ハザル可シ何トナレバ申告人ハ此申告ニ
 依テ罰金ノ私財ヲ得ル者ナレバナリ然レ
 國王ハ又罰金ヲ廢シ之レニ依テ申告者ノ
 裁判上ノ手順ヲ廢除スルコトアリ
 又英國公會ヨリシテ彈劾ヲ為セシ場合ニ

於テハ國王赦典ノ特權ニ制限アリ即チ國王ノ赦典ハ非常大罪人ノ求刑ヲ止ムル如クニ公會ノ彈劾ニ向テ要言セラレ能ハザルト是ナリアクトオブセツトルメントノ憲法ニ制可シテ曰ク英國國印ヲ捺スルノ赦典ハ下院ニ依テ彈劾シタル者ニ向テ要言セララル可カラズト然レ下院彈劾カ終決セシ後尚ホ國王ノ愍恤ガ制限サレシトハ未ダ聞カズ如何トナレバ千七百十五年謀叛貴族ノ没族罪ノ後該貴族中ノ三人ハ前

後ニ裁判停止ヲ得終ニ赦典ヲ受ケシトアレバナリ

古時赦典令ハ英國國印ヲ捺シテ發セザル可カラザル者ナリキ然レ今ハ國務尚書ノ一人ニ依テ捺印サレタル國王手書ノ保証ニ依テ許サル者ナリ此赦典令ニ無限赦典アリ有限赦典アリ之ヲ詳言セバ國王ハ前遂ハ有限デアレ後遂ノ有限デアレ前遂トハ英國慣習律ノ用語ニシテ例ハ甲アリ乙ニ田一項ヲ與之レニ制限ヲ附シテ日ク此田一項ヲ今日ヨリ卿ニ附與ス卿宜ク某ノ日ニ余ニ金子若干ヲ送レ然ル時此

田所有權ハ全ク卿ガ所有ニ取セシト是レ其田ヲ先キニ附與シ後ニ金子ノ箇條ヲ附スルガ故ニ後遂有限即チ後遂ノ箇條ト云之レニ反シ某甲アリ乙ニ約シテ曰ク余ニ田一項アリ卿某日余ニ金圓若干ヲ附與セヨ此金圓附與ヲ受クル時初テ此一項ノ遠ヲ卿ニ與フ可シト是レ前遂有限即チ前遂箇條ナリ何トナレバ金子ノ附與即箇條ハ先キニシテ田ノ附赦典ノ實行ガ属スル與ハ後ナレバナリ

所ノ有限即チ箇條ヲ遂行スル上ニ該赦典ヲ連結スルヲ得而シテ赦典ガ許サレ、時其時ノ事情ニ從テ呼出吟味ノ後又ハ判決停止ノ時或ハ最後ニ判決實行ヲ廢止スル時(赦典令ノ命スル所ニ從テ)赦典ヲ願訴

スルヲ得

死刑

死刑ハ人類刑罰ノ終極ナル者ナリ死刑ニ至ラザル凡ノ場合ニ於テ裁判宣告ノ後囚人ノ護衛ハ今時ハ獄吏ノ手ニ附セリ此獄吏ハ囚人ヲ護衛セシカ為メノ目的ヲ以テ政府ノ吏員トセフレ政府ノ命令政府人管制ヲ受クル者トス死罪ノ場合ニ於テ死刑ハ郡長又ハ郡長代理ニ依テ遂行セサル可カラザル者タリ太古郡長ニ向テ囚人死刑ノ保証ハ裁判官ノ手書及ヒ捺印ヲ備

タル命令ニ依テ為サレタル者ナリキ現時特命上等法廳ニ於テ貴族ヲ處刑スル時此法尚ホ存セリ(上院法廳ニ於テハ此保証票ハ國王ヨリ發スル者ナレド)囚人名簿ニ於テ裁判官自身ノ記名ヲ為シ記名簿ノ極端ニ於テ囚人各自ノ判決ヲ記スルコト今ハ一般ノ風習タリ而シテ此判決ノ寫ガ郡長ニ委托ナル、ナリ重罪死刑ノ時之レガ判決文ハ該囚人名ト相對シテ記セラル者タリ是レ則チ唯郡長ガ他人ノ生命ヲ斷取スル所、重要ナル行為ヲ有スルノ保証トナル

ナリ
郡長ハ便宜ノ時ヲ計テ死刑ヲ為ス可キ者トス是レ死刑ノ時ハ法律上裁判判決ノ一部分トナラザレハナリ死刑ノ場所ハ該囚人が囚獄セラレタル獄舎牆壁内ニアリ
郡長ハ甲ノ死刑法ヲ乙ノ死刑法ニ代置スルコトニ依テ死刑ノ方法ヲ變更スル能ハサル者トス若シ之ヲ變更セハ郡長躬ヲ重罪犯ノ罪ニ處ヤラル、ナリ國王スラモ絞罪ヲ斬罪ニ變更スルコトニ依テ法罰ヲ變換スル能ハザル者トス(斬罪

ノ刑が宣告書ノ一部分タル時國王ハ此一部分
 ノ外ノ部分ヲ廢スルヲ得ルモノナレ氏
 チヤーレス二世ノ時スタツフォールド公カ死刑
 ニ處セラレシ時龍動ノ郡長等ハ國王ヨリスタ
 ツフォールド公ヲ斬罪ニ處スベシトスタツフォ
 ルド公カ處
 刑ハ斬罪ニ附如シタル他ノ諸刑アリシヲ國王
 ハ此諸刑ヲ廢シ只斬罪ノ一刑ノミヲ施行スベ
 シト令セノ令票ヲ受ケ之レニ依テ郡長等ハ上
 院ニ向テ如何ニ此裁判令ガ實行セラル、ヤノ
 命令ヲ上院ヨリ下ニテ請フタリ如何トナレ
 バ公ハ下院彈劾ニ依テ求刑セラレシガ故ニ郡

長等ハ口ツセル公カ嘗テ主張セシ所ノ説ヲ信
 シ國王ハ宣告書ノ一部分ヲ赦典シ能ハサル者
 ト信ジタレバナリ上院ハ此郡長等ニ決答ヲ與
 ヘテ曰ク郡長等ノ疑問ハ無要ノ問ナリト云フ
 可シ而シテ之レニ令シテ曰ク國王ノ令票ハ服
 従セザル可カラズト郡長等ハ此疑問ニ就テ上
 院ハ當ニ國王ノ令票ヲ廢スルニ熱心スベシ
 ト望ミシニ此上院ノ答ニ依テ失望ヲ為シ郡長
 等ハ直チニ下院議士ノ一人ニ向ヒ此國王ノ令
 票ハ郡長等ニ於テ不満足ナリトノ説ヲ説示シ

タリ下院ハ此説示ヲ受テ二日間之レガ可否ヲ
 思考シ終ニ^不満足ナガラ之レニ決答シテ曰ク
 郡長等ガスタツフオールド公ノ首体ヲ分斷スル
 一ヲ満足セリト言ハ國王ハ宣告書ノ甲科ヲ乙
 科ニ代置スルノ權アラザレハ
 宣告書ノ一部分ヲ廢スルヲ得ルヲ云ノ權
 ハ下院ト雖^レ拒ム能ハザルヲ云ノ權
 世ニ傳フスタツフオールド公處刑ノ後上文ノ口
 ツセル公ガ謀叛大罪ニ就テ罪セラレシ時チヤ
 一レス二世ハ公ガ宣告書中ノ醜辱スベキ一部
 分ヲ廢スル際ニ當リ父ベツトフオールド公十萬
 磅ノ償ヲ出シロツヒル公ノ赦典ヲ乞ヒ又口ツ
 セル婦人ハ父ベツトフオールド公カ勤王ノ功ヲ

説キ此功ニ酬テ其子即チ口ツセル公ノ赦典ニ
 乞ヒシニ國王ハ深ク口ツセル公ヲ嫉ムガ故ニ
 其乞ヲ許サ、リレ公ノ處刑^之ヲ冷視シテ曰ク
 ノ事英史ニ就テ見ル可シ之ヲ冷視シテ曰ク
 ロツセル公ハ今ニシテ始メテスタツフオールド
 公處刑ノ時ニ公ガ拒ミシ所ノ特權ハ國王ガ所
 有セシ者ナルヲ檢出スベシト此臣民^即チ口
 ツセル公ノ不遜ニシテ且ツ殘忍ナル熱心ト此
 國王ノ不仁ニシテ且猛惡ナル冷語トヲ比較セ
 ハ人恐クハ孰レカ非難スベキノ大ナル者ナル
 ヤヲ決スル能ハザル可シ
 最後ニ囚人ノ氣息ヲ絶ツマテ頸ヲ絞スベキ宣

告ノ後若其被刑人十分ニ未夕氣息ヲ絶タズシ
 テ再ヒ蘇生スルアラバ郡長ハ再ヒ之ヲ絞殺セ
 ザル可カラザルハ言ヲ待ズシテ明ナル者ナリ
 如何トナレバ初回ノ絞殺ハ宣告書ヲ實行セザ
 ル者ナレバナリ而シテ若シ斯ル死罪ノ場合ニ
 於テ不法ノ懇親ガ黙許サル、アラハ詐欺、刑ヲ
 避クル者ガ續々相嗣クニ至レバナリ
 以上ハ則チ刑法手順ノ末項即チ死罪ニシテ刑
 法條款中ニ考定セラル可キ第六項即チ末項ニ
 シテ英國法律ノ第四ノ目的即チ最後ノ目的ナ

ル人類刑罰ノ終極ナル者ナリ
 ヲテ四卷トナスニ曰ク人身權ニ
 ヲテ民法四ニ曰ク刑法而シテ
 六項トス故ニ本文第六項ト
 云ヒ第四ノ目的ト云フナリ

英國治罪法卷之下 畢

明治十二年五月廿七日版權免許
同 年九月 出版 定價七十錢

譯者 西村玄 道

東京本所相生町三丁目八番地

出版 大塚 禹 吉

同日本橋區吳服町六番地

發兌 律 書 房

同日本橋區吳服町六番地



肆書弘賣

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|-----|---|---|---|----|----|
| 同 | 同 | 同 | 東京 | 名古屋 | 同 | 同 | 同 | 大坂 | 西京 |
| 丸 | 山 | 稻 | 北 | 片 | 中 | 吉 | 岡 | 前 | 田 |
| 屋 | 中 | 田 | 島 | 野 | 川 | 岡 | 島 | 川 | 中 |
| 善 | 市 | 佐 | 茂 | 東 | 勘 | 平 | 真 | 善 | 治 |
| 七 | 兵 | 兵 | 兵 | 四 | | | | 兵 | 兵 |
| | 衛 | 衛 | 衛 | 郎 | 助 | 助 | 七 | 衛 | 衛 |

